

ベストマッチ® 根菜用084 **20-8-14**

化成肥料と4種類の被覆肥料を配合し、各種根菜類に好適な肥効が持続します。
また、地下部肥大期に効く被覆加里を配合した根菜用の一発肥料です。

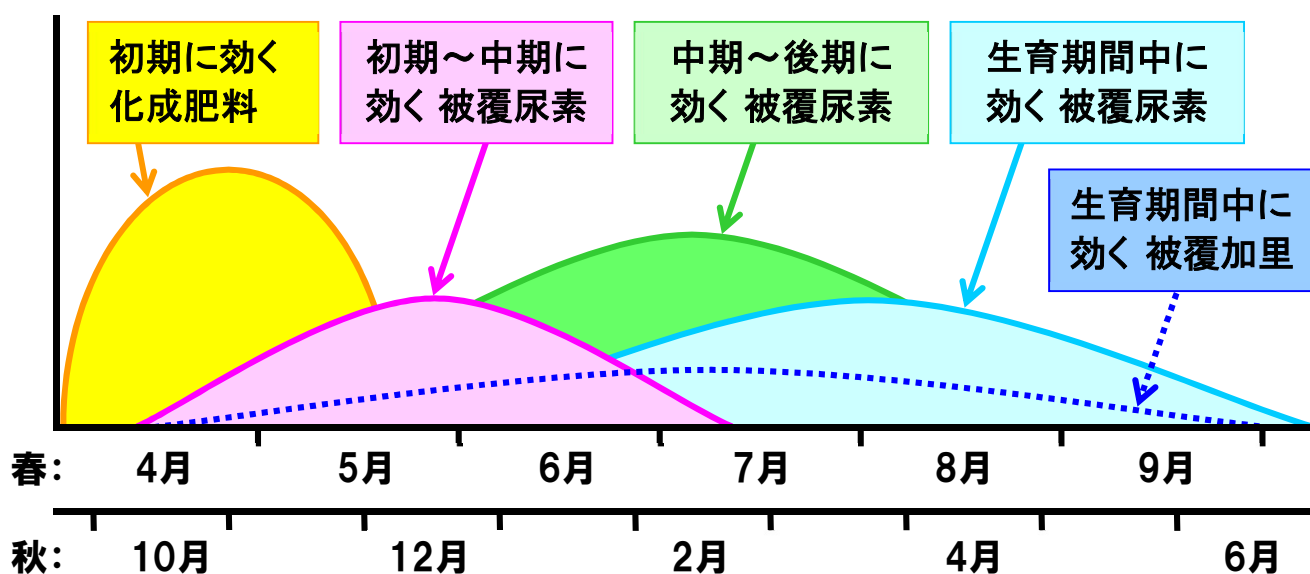
N	窒素（化成）	0.54 kg
	窒素（被覆）	3.46 kg
P	りん酸（化成）	1.6 kg
K	加里（化成＋被覆）	2.8 kg（1袋20kgあたり）

特長・・・根菜類に好適な肥効が収穫期まで持続します。

根菜のために、生育初期に必要な化成肥料と、茎葉繁茂期・地下部肥大期に必要な3種類の被覆尿素と被覆加里を配合しています。播種/定植から収穫まで肥効が穏やかに持続するため、充実した根菜が収穫できます。

また、肥料の利用効率が高まり、肥料の流亡が少なくなるため、環境への負荷が減らせます。

ベストマッチ根菜用084の肥効イメージ(4月上旬施肥の場合)



作物	作型	施用量（10a当り）		施用方法
		現物	窒素量	
レンコン・ヤマノイモ	春植え (3～5月植付け)	120～150kg	24～30kg	施用量は、左記を参考に慣行の総窒素量に合わせて地力により増減してください。元肥として全量を全層混和で施用してください。
サトイモ・根ショウガ	春植え (3～5月植付け)	100～180kg	20～36kg	
小ネギ（葉ネギ）	周年栽培 (2作連続どり)	160～200kg	32～40kg	
ゴボウ	春播き (3～5月播種)	100～120kg	20～24kg	堆肥、石灰、りん酸資材などの土壌改良資材は、従来通り施用してください。
	秋播き (9～11月播種)	120～150kg	24～30kg	